

ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム（次世代医療基盤を支えるゲノム・オミックス解析）
令和 4 年度採択課題事後評価 評価コメント

評価課題名	研究開発 代表者名	所属機関	役職
マルチオミックス手法を用いた糖尿病および合併症の病態解明に関する研究開発	植木 浩二郎	国立国際医療研究センター 研究所 糖尿病研究センター	センター長

【評価コメント】

入院時と退院時の血液・糞便ペア試料取得済の糖尿病 200 症例について、全ゲノム解析、糞便 16SrRNA 解析、糞便メタボローム解析、血中 miRNA 解析を完了し、DDBJ/AGD へのデータの登録も完了している。さらに、日本糖尿病学会と共同して展開している診療録直結型全国糖尿病データベース事業（J-DREAMS）と統合することで、データベースの充実化、及び企業の利活用も期待される点が評価された。

今後は、データベースの量的・質的拡充やマルチオミックスの詳細な解析により糖尿病、特に合併症の治療・予防に対して、産学の連携を進めつつ、ブレークスルーとなるような成果が得られることを期待する。